



日本史類名稱訓  
完

リ 5  
15629



115  
15629

日本史類名称訓  
玉山堂

95-1462

山本彰氏  
1991.4  
寄贈

名称訓序

大皇國の史と稱せしは  
とてしはけり先を  
し其れ物とす國史略  
皇朝史略とすは讀  
そんてやうく大日本史  
ありとて及ふやとすの  
西文略の古き名称の  
旁訓いふとたりあて  
古しふとす事多  
らんとす其れ目あれて



ふくせしむる日本紀  
古事記よみ入るんん  
うらたつらうやみあれ  
はは冊よみ入るれ  
そのあう史子のあ  
益かたううんその  
をや受意といふけ  
あのをうは後のさ  
紀の版人半村法矩  
しるは

日本史類名稱訓

凡例

○大日本史ハ以ても  
めて多き御典なを

天神地祇また上古

天皇等此御名及び

皇子后妃諸臣の名稱

地名なと後の文字

つらひいゝ異なれハ

訓注ふくてる讀得

うらたつらうのうらた

小苦し〜その事  
さしねくを〜いも  
ありとそ今ハ其幼  
稚<sup>+</sup>さ人〜此為小  
神武天皇〜り  
持統天皇の御巻〜て  
讀難きもの紙抄出  
〜て旁訓を施<sup>ホト</sup>たり  
史を讀人この冊子  
を傍<sup>ヨ</sup>か〜は探索  
此勞と省<sup>シ</sup>く〜

○旁訓ハ日本紀の  
今本此假名〜ると  
〜と〜天紀〜り  
次〜の注釈〜もふ  
參攷〜ま〜姓氏録  
和名抄等をも見合  
せて訂<sup>タ</sup>〜た〜ハ大  
〜ハ訛<sup>ヒ</sup>謬<sup>リ</sup>ありめき  
とた正〜あ〜ぬ  
そのもありをんハ  
い〜せん

○この冊子の史の  
巻次第を逐て標  
をたてた社を

神武天皇の御巻小

出たる名稱はそれ

その標の中よりあり

但一たび出さるは

再出さず次をたたと

つハ

天武天皇の御巻に

よみ難きものありて

その標の中を索ぬ

るよ無きを以前小

立よりりて

天智天皇

天皇大友の御巻此

標中小索ぬるよ

如し

○史ハ全く漢文ふ

まとも青雲白肩津

袴袞新羅國などや

うに原文小引きて

發語ハツゴトをさり阿くぬよ  
 た古言のまゝまゝく  
 潤色を加へるもの  
 元折もとあり是等名  
 稱なづとる少すくく異を  
 せと漢文よみよは  
 よむよへうらぬる抄  
 出して旁訓を加へ  
 つ

○韓國カラクニキト人の名およ  
 ひ地名官号紀小訓

あつものれを注しる  
 小訓せうくんハ無れとも音  
 讀よみなる事いちいちる  
 こハ音讀と注に彼  
 邦音をよへてハよこ  
 難たがひハ味詳あじわひと注し長  
 紀の訓ふをよりれく  
 への古ふるニ稱呼の殘  
 れるヲ多おほくおほくをれ  
 るるの國書をも考  
 つあえははくく事ふ

れとまことひハ暇  
なくて元ものせ  
諸蕃國のもまこと然  
り  
○史ハ氏々の加婆  
禰を皆省まて記さ  
社にさるは稱呼の  
長きハ文章のう  
美しうらふとやう  
の事う省う終々  
るにや然まとも加

婆祢を種族を分ち  
貴賤の品を知へる  
そのうてこまなく  
てハ古代の氏々此  
天朝小仕へ奉まる  
さまを委細くハ知の  
とかるくハ譬ハ書  
首書直ハその族も  
とらる異なると首  
直の加婆祢を去て  
單小書氏と稱まる



時々同姓と云こえ  
まこと壹岐直ハ神孫  
壹岐史ハ蕃種たるを  
加婆祢ふらうてハ如  
何別とんその他中  
臣連齋部首の如こ  
中臣齋部ハ執掌の  
職号の姓とされる  
よて神ふ奉仕はる  
徒ふ廣くつり連  
首を群下を率ゐて

その主宰たる称よて  
是則加婆祢なる氏  
省さはりてら  
めや又蘇我氏を臣  
の加婆祢なり故  
ふその姓の人ハ大  
臣とらるる物部氏を  
連比加婆祢なり  
故よその姓の人を  
大連とされるよて  
大臣大連ハ後の氏

上よりひとしきもの  
たる事も加婆祢小  
らうては辨へらう  
くやあらんまゝ海  
部直上毛野君出雲  
臣々との如き直君  
臣等の加婆祢を去  
ていたく小漁をす  
るも此上野出雲ふ  
との國人のやうふ  
聞えそまゝらばし

されとそまゝ列傳  
まてよく見せし  
て事此やうをよく  
考人々まゝふも  
一無うめを初學  
の為ふまゝは省ら  
ざるうらうらう  
く思ふればこの  
冊子より紀より  
て其姓の下ふ加婆  
祢を加へり譬ハ境部

雄麻呂紀境部臣中臣鎌足

紀中臣連といたる類なり

○天武天皇の十三

年に諸氏の加婆祢

を八色小定めとす

ひて後ハ上古のれ

もむふと變カれ事

多シ古語拾遺小至

于淨御原朝廷改天

下之万姓而分ワカ為八

等トク唯序テ當年之勞不

本モト天降之績云々と

つるこの事なり當

年之勞とは近江朝

廷と戦ひたりし

壬申の年少て吉野

此御方カタ小叅サれる人

の勞をふくさめは

せきまくる也諸氏

の加婆祢前後同

うらさるる此故な

り見む人よくこの  
旨を心得てよ

○この冊子

持統天皇ふ止りて  
文武天皇より以下ハ  
抄せられたるハ續紀以  
下ハは旁訓ふくろ  
証をつきまのし無  
れハ也天皇此御名  
諡イケリナハ此後もな  
つゝ〜とさまねる

多う此と前の例ふ  
より類をくろ祿て  
大く〜を讀得〜  
奈良朝より以下ハ  
の名二字ふ定まり  
て後此ハ中こり  
よ〜難さとの何さ  
と拾芥抄ま〜黒河  
氏の名字指南なと  
よ〜りてこれも大  
く〜ま〜ふ〜

但地名と諸物品の  
名称とふハハヤモヤ  
ヨクウラぬモのあり  
和名抄また萬葉集  
ナリトヨクテ讀えら  
モ何モとそれ小漏  
左ノものはよく  
便ナリめをこの  
後編ふものせん乃  
て今暫く博覧の又  
あつきてたつひよ

むくー

○天皇の文字古風  
此御名御謚の下に  
所々ハ皆ヌメラミコ  
トトヨむくー王字  
ミコと讀へる處あり  
オホキミトヨむへさ  
所あり此差別今も  
古事記傳の説あり  
りて其ところく  
訓を分てり

○孝徳天皇以前の  
冠位の号ふ八訓より  
こかくよもの多し  
其後八省百官の号  
ハ古訓を知らんや  
おもふ人を北山抄和  
名抄等ふつさて尋  
ぬし史をよまん  
ふさしも用ふれ  
今ハ皆もらしつ  
文久壬戌夏

香取 伊能穎則

日本史類名稱訓

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

本紀

神武天皇

○彦火火出見 ヒコホホデミ 注○若御毛沼

○豊沛毛沼 ○狹野 サマ ○大日 オホヒル

靈尊 メノミコト ○正哉吾勝々 マサヤアカツカチ

速日天忍穗耳尊 ハヤヒ天安ノオシホミノミコト ○

高皇產靈尊 タカミムスヒノミコト ○栲幡 タクハタ

千千姫 チチヒメ ○天津彦々 アマツヒコヒコ

火瓊々杵尊 ホノニギノミコト ○八坂 ヤサカ

瓊曲玉ニノカタマ ○ 八咫鏡ヤタカミ ○  
 草薙劍クサハゲ ○ 豊葦原瑞トヨアシハラノミツ  
 穗國ホノクニ ○ 天磐坐アメノイハクラ ○ 高タカ  
 千穗峯チホノミネ ○ 吾田アタ ○ 大オホ  
 山祇ヤマツミ ○ 木華開邪姬コハナサクヤヒメ  
 ○ 彦火火出見尊ヒコホホデミミコト ○  
 海神ウタツミカミ ○ 豐玉彦トヨタマヒコ ○ 豐トヨ  
 玉姬タマヒメ ○ 彦波瀲武鸕ヒコナギサタクワ  
 鷄草ガヤスキ 骨不合尊アズノミコト ○ 天アマ  
 津日高ツヒタカ ○ 日嗣ヒツギ ○ 玉タマ  
 依姬ヨリヒメ ○ 吾平津媛アヒラツヒメ ○

長髓彦ナカスネヒコ ○ 饒速日命ニギハヤヒノミコト  
 ○ 兄猾エウケシ ○ 弟猾オトウケシ ○ 八ヤ  
 十島師ソタケリ ○ 兄磯城エシキ ○  
 磯城シキ ○ 鹽土老翁シホツツノヲヂ ○  
 五瀬命イツセノミコト ○ 天磐船アマノイハフネ ○  
 稻飯命イナヒヒノミコト ○ 三毛入野ミケイリノ  
 命ミコト ○ 手研耳命タキシミノミコト ○ 速ハヤ  
 吸門スヒナト ○ 珍彦ウツヒコ ○ 椎根シヒネ  
 津彦ツヒコ ○ 菟狹ウササ ○ 菟狹ウササ  
 津彦ツヒコ ○ 菟狹津媛ウササツヒメ ○  
 天種子命アメノタネノミコト ○ 崗水門オカノミナト



○埃宮エミヤ○吉備國キビノクニ○

高嶋宮タカシマノミヤ○浪速國ナニハノクニ○注

河内カハチノ○阿岐國多

草香邑クサカノムラ○青雲白肩アラクモシラカタ

津ツ○龍田タツタ○青雲二字教 語不地名也

膽駒山イユマヤマ○孔舍衛坂クサエサカ

○盾津タテツ○茅渟山城チヌノヤマキ

水門ミナト○竈山カマヤマ○名草ナカサ

邑ムラ○名草戸畔ナカサトバ○熊クマ

野神邑ノカミノムラ○荒坂津アラサカノツ○注

浦ウラ○丹敷戸畔ニシキトバ○高タカ

倉下クラジ○部靈劔フツミヤノツルギ○頭ヤ

八咫鳥ヤカラス○道臣命ミチノオミノミコト○

大来目オホクメ○菟田下縣ウタノシモアカタ

○吉野ヨシノ○井光イヒカ○高タカ

倉山クラヤマ○國見岳クニミツノヤマ○女メ

坂サカ○男坂ヲサカ○墨坂スミサカ○

磐余邑イハレノムラ○天香山アマノカゲヤマ○

八十平瓮ヤソヒラカ○天手扶アメノタケジリ

○巖瓮イツバ○丹生川上ニフノカハバ

○真坂樹マサカキ○顯齋ウツシイヒ○

齋主イハヒマシ○嚴姫イソヒメ○弟磯オトシ

城キ○兄倉下エクラジ○弟倉オトクラ

下ジ○鷄トビ○層富縣ワフフカタ○

土蜘蛛ツチクモ○新城戸畔ニヒキト

○居勢祝コセノハシリ○猪祝イノハシリ○

高尾張邑タカラハリムラ○葛城カツラキ○

畝傍山ウネビヤマ○檀原カレハラ○媛ヒメ

踏鞴タラ五十鈴イソ媛ヒメ○神ヒメ

籬ロギ○天富命アメノトミノミコト○齋部イムベ

○天神壽詞アマツカミノヨゴト○可美ウマシ

真手命マテノミコト○内物部ウチモノノベ注

○天日方奇日方命アマノヒカタケヒカタノミコト  
○申食國政大夫ウケクニノサカシ○筑坂ツキサカ○

倭國造ヤマトノクラミヤシ○猛田縣主タケダノアガタマシ

○劔根ツルギネ○鳥見山トリミヤマ○

腋上アキガミノホ間丘マノカ○蜻蛉アキツ

之ノ臀ナメ帖ナメ○秋津洲アキツシマ○

神渟川耳尊カシヌナカハミノミコト○畝傍ウネビ

山東北陵ヤマノウシトラスミヤギ

綏靖天皇

○神八井耳命カムヤ井ミノミコト○神カム

渟名川耳天皇ナカハミノミコト注○健沼河耳命

○高丘宮タカノカノミヤ○五十鈴イソ

依媛ヨリヒメ○磯城彦玉手シキツヒコタマテ  
看尊ミノミコト注注。彦○桃花鳥ツキ  
田丘上陵タノカノウエノミヤキ

安寧天皇

○磯城津彦玉手看シキツヒコタマテ  
天皇スラフミコト○片鹽カタシホ○浮孔ウキアナ  
宮ミヤ○淳名底仲媛ヌナソコナカノヒメ注  
出雲イソノ色命イロノミコト○大日本彦耜友オホヤマトヒコスキトモ  
尊ミコト○御陰井上陵ミホトノイノノミヤキ

懿德天皇

○大日本彦耜友オホヤマトヒコスキトモ  
皇ミコト○輕曲峽宮カハルマカリノミヤ注注。岡  
宮ミヤ○天豐津媛アメトヨツヒメ○觀ミ  
松彦香殖稻尊マツヒコカエミネノミコト○織オリ  
沙谿上陵サガニウエノミヤキ

孝昭天皇

○觀松彦香殖稻天ミマツヒコカエミネノスラ  
皇ミコト○掖上ソヤカミ○池心宮イケノココロノミヤ  
○世襲足媛ヨソシラシヒメ○日本ヤマト

足彦國押人尊タラシヒコクニオシヒトミコト○掖ワキ  
上博多山上陵カミハカタノヤマノウヘノミサキ

孝安天皇

○日本足彦國押人ヤマトタラシヒコクニオシヒトノ

天皇スメラミコト○室ムロ○秋津島アキツシマ

宮ミヤ注○六見命○三見命並訓未詳ミヤノツケ。六見命。三見命並訓未詳。宿禰。○押媛オシヒメ

○大日本根子彦太オホヤマトネコヒコマト

瓊尊ニノミコト○玉手丘上陵タマテノマカウヘノミサキ

孝靈天皇

○黑田クロタ○廬戸宮イホトノミヤ○

大日本根子彦太瓊オホヤマトネコヒコマトニノ

天皇スメラミコト○細媛スシヒメ○彦國ヒコクニ

牽尊クルミコト○片丘馬坂陵カタラカウマサカノミサキ

孝元天皇

○大日本根子彦國オホヤマトネコヒコクニ

牽天皇クルミスメラミコト○境原宮サカヒハラミヤ○

鬱色謎カヅシコメ○稚日本根ワカヤマトネ

子彦大日日尊コヒコオホヒヒノミコト○劔ツルギ

池鳥上陵イケミツノウヘノミサキ

開化天皇

○稚日本根子彦大

日日天皇○春日

率川宮○伊香色謎

○御間城入彦尊

春日率川坂本陵

崇神天皇

○御間城入彦五十

瓊殖天皇○御間城

姫○瑞籬宮

命○倭大國魂神

豐鍬入姫○笠縫邑

○淳名城入姫○神

淺茅原○大物主神

○大田田根子○茅

淳縣陶邑○伊

香色雄○長尾市○

墨坂神○大坂神○

大彦命○北陸○武

淳川別○東海○彦

五十狹芹彦命イサセリヒコノミコト○西ニシ

海ウミ○丹波道主命タニハノミチヌシノミコト注○道彦坐王

武埴安彦タケハニヤスヒコ○玖賀耳御笠

吾田媛アタヒメ○彦國葦ヒコクニアシ

男之弭調女之手ヲトコノユヅクメノテ

末調スエノミツキ○御肇國天皇ミツクニシラヌスメラミコト

活目尊イクメノミコト○豐城命トヨキノミコト

出雲振根イツモフルネ○狹山サヤマ

埴田ハニダ○依網池ヨサシノイケ○新カリ

坂池サカイケ○及折池ワカサヅイケ古夏記酒折池

任那國ミコナノクニ○山ヤマ

邊道上陵ヘミチノノミヤ命ノミコト○高天原タカメノ

垂仁天皇タケヒメノミコト

御諸山ミモロノヤマ○活目入イクメノイリ

彦五十狹茅天皇ヒコイササヲノミコト○

狹穗姬サホヒメ○纏向マキムク○珠タマ

城宮キノミヤ○天日槍アマノヒコ○来ク

目高宮メノタカミヤ○狹穗彦サホヒコ○

八綱田ヤツナダ○當麻邑タギマノムラ○

蹶速クハヤ○野見宿禰ミノノスクメ○

日葉酢媛ヒハスヒメ○渟葉田スバハタ

瓊入媛イリヒメ○真砥野媛マシノヒメ

○筋瓊入媛アササキイリヒメ  
筋紀作筋接 筋筋共前之

誤古事記謂阿邪美能伊理毘賣則是○大鹿島オホカシマ

○十千根チネノネ○武タケ

日ヒ○倭姬ヤマトヒメ○齋宮イハヒノミヤ○

五十鈴川上イソノカハカミ  
注磯城巖 檀之下渡遇

○屯倉ミヤク○倭彦命ヤマトヒコノミコト

○土像物ハニモノ○土部職ハシノツカサ

○建真利根命タケマカリネノミコト○石イハ

作大連公ツクリノオホムラシキ○山背ヤマセ○

五十瓊敷命イソノシキノミコト○高石タカシノ

池イハ○迹見池トミミイハ○大足オホタラシ

彦尊ヒコノミコト○石上神宮イソノカミノカミノミヤ○

河上部カハカミベ○清彦キヨヒコ○天アマ

日槍ヒボコ○田道間守タチノマモリ○

非時香菓トヤジツクノカクノコノミ○常世國トコヨノクニ

○菅原伏見陵スガノハラノミツミノミサキ

景行天皇

○大足彦忍代别天オホタラシノヒコノオシノワケノスミタ

皇ミコト○播磨稻日大郎ハリマノイナヒノオホイナラ

媛メ○屋主忍男武雄ヤヌシノオシノヲタケヲ

心命ココロノミコト○日代宮ヒシロノミヤ○熊クマ  
 襲ツ○周芳スハフ娑磨ソバ○武タケ  
 諸木モロキ○菟名手ウナテ○夏ナツ  
 花ハナ○神夏磯媛カミカシメメ○八ヤ  
 尺瓊サカニ○八握劍ヤツカヅルキ○八ヤ  
 咫鏡タカミミ○菟狹川上ウサノホトリ○  
 鼻垂ハナタリ○御木川上ミケノホトリ○  
 耳垂ミミタリ○高羽川上タカハネホトリ○  
 麻剝アサハキ○綠野川上ミドリノカハノホトリ○  
 土折ツチラリ○猪折イノシリ○長峽ナカヲ  
 縣アノタ○碩田國オホキタノクニ○速見ハヤミ

邑ムラ○速津媛ハヤツヒメ紀無訓今據上文之例  
 ○鼠石窟ネツミノイハヤ○青アヲ○白レロ  
 ○直入縣ナホリノアガタ○禰疑野ネキダ  
 ○打後ウチサレ○八田ヤタ○國クニ  
 摩侶マロ○来田見邑クミタミムラ○  
 海石榴ツバキ○椎ツチ○稻葉イナバ  
 川カハ○城原キハラ○柏峽大カシハラオホ  
 野ヌ○高屋宮タカヤノミヤ○厚鹿アツカ  
 文ヤ迹鹿文セカヤ○市乾鹿イチチノカ  
 文ヤ訓注乾此云賦○市鹿谷イチカヤ○  
 子湯縣コノアカタ○丹裳小野ニモノラヌ



○夷守ヒナモリ○諸縣君モロガタノキミ○

泉媛イヅミヒメ○熊縣クマノアカタ○熊津クマツ

彦ヒコ○葦北小島アシキタノシマ○小

左ヒタリ○冰島ヒツシマ○火國ヒクニ○

玉杵名邑タマキナノムラ○津ツ頻ツラ○

阿蘇國アソノクニ○御木國ミキノクニ○

高田行宮タカダノカミヤ○八女縣ヤメノアサヒ

浮羽邑ウキハノムラ○五百野皇イホノノミ

女メ○武内宿禰タケウチノスネ世謂多計能字

遲者非也武宜訓多計志美称内宜訓字遲地名大和國有智是也則此宿禰与兄甘美内宿禰所居住之地也

本武尊マトタケミコト○川上梟師カハカミタケシ

○吉備武彦キビタケヒコ○大伴オホトモ

武日タケヒ紀作武日連○大碓命オホウスミコト

○能褒野ノホノ○武部タケベ○

稚足彦尊ワカタラシヒコノミコト○八坂入ヤサカイリ

媛ヒメ○淡水門アハノミナト○綺宮カハタノミヤ

通證云疑是飯高郡川股村○彦狭島ヒコサシマ

王ミコ○御諸別王ミロケノミコ○坂サカ

手池テノイチ○田部屯倉タベノミヤケ○

高穴穗宮タカアナホノミヤ○山邊道ヤマノヘノミチ

上陵ノミサキ

成務天皇

○稚足彦天皇○君

長○首渠○長○首

○造長○稻置○日

縱○日横○影面○

背面○足仲彦按依例宜有尊

字○狭城盾列陵

仲哀天皇

○兩道入姬命○足

仲彦天皇○大伴武

以紀武連○蘆髮蒲見別

王○氣長足姫尊○

角鹿○笥飯宮○德

勒津宮○穴門○豊

浦津○淳田門○海

鯽魚○崗縣主熊鱈

○山鹿岬○大倉主

○菟夫羅媛○菟田

伊賀彦○洞海○伊

觀縣主祖五十迹手

引島 ○伊蘇志 ○

灘縣 ○檀日宮 ○膺

之空國 ○栲衾新羅

國 ○穴門直踐立

○蘇那曷叱智 ○中

臣烏賊津 ○大

三輪大友主 ○

物部膽咋 ○小山

田邑 ○審神 ○千繒

高繒 ○琴頭尾 ○鴨

別 ○荷持田村

峽宮 ○層增岐野 ○

山門縣 ○田油津媛

○夏羽 ○火前國 ○

松浦縣 ○玉島河 ○

裂田溝 ○和魂 ○荒

魂 ○依網吾彦男垂

見 ○伊都縣

部 ○波沙寐錦

○波珍干岐微叱

云能 登利 ○羽白熊鷲 ○松

ヤマトノアガタ

マツラガタ

サタタウラ

ミタマ

ミノアカタ

原○彼杵

郡見響原

利智

流助富

己知 紀作微叱己知波珍手岐而珍訓登利蓋波珍新羅官號登

利其國 語也矣 ○高麗 ○百濟

内屯官家 注穴門山田邑紀無屯字是

○表筒男 ○中筒男

○底筒男 ○長野陵

應神天皇

○蚊田 ○譽田 注大靴和氣命

品陀和氣命去來紗別尊伊奢沙和氣大神 ○麿坂

王 ○忍熊王 ○住吉

○務古水門 ○菟路

○紀伊日高 ○小竹

宮 ○難波根子武振

熊 注物部多遲麻紀多遲麻連 ○磐余 注若櫻

宮五 ○微叱許智 通證

云東國通鑑作未斯欣 ○葛城襲津

彦 ○斯摩宿祢 ○卓

淳國 ○千熊長彦 ○

荒田別 ○鹿我別 ○

久氏 ○比自焔 ○南

加羅 ○喙 ○安羅 ○

多羅 ○加羅 ○南蠻

○枕彌多禮○多沙

城サシ訓佐ナ、サヤ、カタチ○七枝刀○

○七子鏡○百濟王

肖古セウコ肖古事記東國通鑑三國史記並作照○

貴須キス東國通鑑作仇首叔紀須音主○子セシム

枕流トム子訓勢志年韓語○阿花アクラ東國通鑑

草サウ○辰斯シム○譽田天ホムタノスメラ

皇ミコト○輕島カルシマ○豐明宮トヨアカリノミヤ

○仲姬ナカツヒメ○厩坂道○

海人ウミマ○大濱宿祢オホハマノスクネ○

紀角キツク宿祢宿祢○羽田矢代ハタヤシロノスクネ

紀八代紀八代宿祢宿祢○蘇我石川ソゴノイシカハノスクネ紀石

川宿川宿○平羣木苑ヘダリノウクスネ紀木苑紀木苑宿祢宿祢

○山守部ヤマモリベ○枯野カラマ○

韓人池カラヒトノイハ○岷南ミナミ○支

信シ紀紀○谷那コナ岷南岷南以以下音讀下音讀○直チ

支シ三國史記作腫支直韓音登今從腫○劔池ツルギノイハ

○輕池カルノイハ○鹿垣池シカカキノイハ○

厩坂地ウマサカノイハ○弓月君ユツキノキミ○

阿直岐アチキ○荒田別アラタロケ○

巫別カムキロケ○王仁ワニ○卓素タクソ

○吳服西素ニハトリサイソ○仁番ニハ

○的户田イタノトダスケ紀户田宿祢○國クニ

櫛人ズヒト○阿知使主アチノオミ○

都加使主ツカノオミ○大隅宮オホスミノミヤ

○兄媛エヒメ○小豆島アヅキシマ○

葉田葦守宮ハタアシモリノミヤ○御友ミトモ

別ソケ○久爾辛クニシ○新齊ニシヤ

都媛ツヘ○吳織クニハトリ○穴織アナハトリ

穴訓阿那与阿耶 通穴織則漢織○菟道稚ウチヂ

郎子イラツコ○大鷦鷯皇子オホササギノミコ

○大山守皇子オホヤマモリノミコ注物部 印葉

○惠我藻伏山岡陵エガノモ フシヤノカノミヤキ

仁德天皇

○木兔ウツ○鷦鷯ササギ○大オホ

鷦鷯ササギ天皇スメラミコト○高津宮タカツノミヤ

○磐之媛命イハノヒメノミコト○去来イサガ

穗别皇子ホワケノミコ○壬生部ニラベ

○葛城部カツラキ○堀江ホリエ○

茨田堤マムタノツツミ○山背栗隅ヤマシロクリクマノ

縣アタタ○春米部ツキコメベ○和珥ワニ

池イケ○横野堤ヨコノツツミ○猪甘イカヒ

津ツ○丹比邑タニヒノムラ○感玖カムク

○石河イシカハ○鈴鹿スズカ○豐トヨ

浦ウラ○砥田トノ宿祢タノ○賢サカシ

遺臣ユイジン○八田ヤタ皇女ノヒメ○

筒城宮ツツキノミヤ○牟別皇子ムツワケノミコ

○鷓鴣メトリノヒメ皇女ノヒメ○依網ヨサミ

阿弭古アヒコ○百濟クツラノサケ酒君ノキミ

○百舌モズ鳥野ノ○鷹甘タカカヒ

部ハ○雁カリ生子コラシム注トヨ○曲マ鳴ナリ

竹葉タケハ瀨セ○田道タミチ○荒アラ

陵ハカ松林マツハラ○大井川オホイカハ○

○倭ヤマト吾子アゴ籠ゴ○冰室ヒムロ

○宿儺スクナ○河内カハチノ石津イシツツ

原ハラ○百舌モズ鳥野ノ陵ノミサキ○

菟ツ餓野ガノ○猪イナ名縣ナメタ○

佐伯部サヘキ○安藝アキ淳田ヌタ

○吉備キビ中國ナカノクニ

履中天皇

○住吉スミノエノ仲皇子ナカノミコ○平ヘ

羣木免グリンジク紀本免紀本免宿祢宿祢○物モノ

部ベノ大前オホマヘ紀大前紀大前○阿知アチ

使主オミ注注○阿ア直直○埴生坂ハニウツサカ

○大坂オホサカ○飛鳥山下アスカノヤマノシタ

○當摩路タケノマチ○阿曇連アトモノミヤ

濱子ハマコ○石上振神宮イソノカミフルカミノミヤ

○瑞齒別皇子ミツツバハワケノミコ○去

來穗別天皇キタホトワケノスメラミコト○倭蔣ヤマトノコト

代屯倉シロノミヤケ○黑媛クロヒメ○

蘇我滿智ソガノマチ○物モノ

部伊苜弗ベノイフ紀伊苜弗大連姓

○葛城圓カシラキ紀圓大使主雄略卷

○市磯池イチノシ○稚櫻ワカサクラ

宮ミヤ○石上溝イソノカミノミナト○飼部ウマカヒベ

○草香幡クサカノハタ梭皇女ヒメミコ○

藏職クラツカサ○藏部クラヒトベ○大姫オホヒメ

郎姬イラツメ○高鶴郎姬タカツルノイラツメ○

百舌鳥耳原陵モズノミミハラノミサキ

及正天皇

○多遲花タヂノハナ○多遲比タヂヒ

瑞齒別皇子ミツツバハワケノミコ注。變之水島別命

多治部タヂベ○刺領巾サシレヒレ注。曾婆

加理カレ○村合屯倉ムラアヒヤケ○瑞ミツツ

齒別天皇ハツケスミラミコト○津野媛ツノノヒメ



○丹比柴籬宮タチヒシカキミヤ○百舌鳥耳原陵ヒツシガミミハラノミヤキ

允恭天皇

○雄朝津間稚子宿ヲアサツマワクコノスク

祢皇子ネノミコ○大草香皇オホクサカノミ

子コ○遠飛鳥宮トホツマスカノミヤ○雄

朝津間稚子宿アサツマワクコノスク禰天

皇ミコト○忍坂大中姫オノサカノオホナカツヒメ○

刑部オサカベ注注。金波○味檀丘アミカシノウカ

○誓神探湯シカガタチ○葛城カツラキ

玉田タマタ○衣通姫フトホシイラツメ○茅チ

淳宮ヌノミヤ○日根野ヒネノ○木コ

梨輕皇子ナレカルミコ○輕部カルベ注注。物部

○輕大娘カルノオホイラツメ○物部大前宿禰

○長野原陵ナカノハラノミヤキ

安康天皇

○穴穗天皇アナホノタラミト注注。物部

穴穗宮アナホノミヤ○中蒂姫ナカシヒメ○

眉輪王マユワノミコ○菅原伏見スガハラノフシミ

陵ミヤキ

雄略天皇

○大舍人オホトネリ ○八鈞白ヤツリノシロ

彦皇子ヒコノミコ ○坂合黑彦サカヘノクロヒコ

皇子ミコ ○市邊押磐名皇イチヘノオシ

子コ ○御馬皇子ミマノミコ ○泊ハツ

瀬セ ○朝倉宮アサクラノミヤ ○大泊オホハツ

瀬幼武天皇セワカタケノスミコト ○平群ヘタリノオミ

真鳥マトリ ○大伴室屋オホトモノムロヤ

伴連紀大 ○物部目モノベノムラシメ ○幡ハタ

梭皇女ヒメミコ ○葛城韓媛カツラキノカラヒメ

○童女君ワグナキミ ○御馬瀬ミマセ

○穴人部シヒト ○史戸シト ○

河上舍人部カハカミノトネリ ○河上カハカミノ

小野ヲノ ○加須利君カスリキミ ○

軍君イクサキミ ○物部兵士モノベノツハモノ ○

吉備下道前津屋キビノシモツミナノオミサキツヤ ○  
紀下道臣

○吉備田狭紀吉備 ○  
上道臣

吉備稚媛キビノワカヒメ ○吉備海キビノアヲ

部赤尾アカヲ ○樟媛クスヒメ ○

身狭青ムサスリアラ ○檜隈ヒノマタノミヤ

博德ハカト ○膳斑鳩カシラノミヤ

紀膳 臣 ○吉備小梨キビノオミコナシ 紀吉備臣

○難波赤目子ナニウケシアカノコ 紀難波吉士

○凡河内香賜オホシカフチノアヘカタフ 紀凡河内直

○胸方神ムチカタノカミ ○采女ウネメ

紀小弓キリヨエミノスネ 宿祢 ○蘇我ソノガノ

韓子カラコ 紀韓子 宿祢 ○大伴談オホトモノカタイ

連ツシマ ○小鹿火ヲカヒノムラシ 紀小鹿火連 ○

對馬ツシマ ○匝羅サハラ ○紀岡キノノカ

前來目サキノクミノメ 紀來目連 ○紀大磐キオホノオホノイ

宿祢 ○近江栗太郡チカツアミノクリモトノコホリ

○白鷺シロキ ○谷上濱タナカミノハマ

○川瀬舍人カハセノトネリ ○吳人クニヒト

貴信キタカノブ 讀音 ○木工コタケミ 鬪ツケ 鷄トリ

御田ミタ ○播磨御井隈ハリマノミヅノクマ

○文石アヤシノイシ 小麻呂コウマロ ○小

野大樹ノオホノキ 紀春日小野臣 ○漢織アヤハトリ

○縫衣キヌスエヒ 兄媛ケイノ 弟媛ケイノ

磯齒津路イソヂツジ ○檜隈野ヒノクマノ

○大三輪神オホミワノカミ ○漢衣アヤノキヌ

縫部ヌヒベ ○根使主ネノミ ○秦ハタケ

氏ウヂ ○秦造酒ハタケノミヤツコサケ ○大藏オホツクラノ

官ツカサ ○漢部アヤノベ ○伴造トモツクラノ ○

贅土師部ニハノハシ○物部モノ菟ウ

代スツネ紀菟代アサヒノイワツ○朝日郎アサヒノノ○  
宿祢

穴穂部アナホベ注注○汶洲モシマ○

久麻那利地クマナリ○白髮シラガ

皇子ミコ注注○物部モノ布都フツ久留ク○丹波與タニハ

佐真井原サマナノハラ○豐受大トユケ

神カミ○度會郡山田ワタラヒ○

文斤モンキム○昆支王クニキ○末スエ

多タ○安致臣アチノミ○馬飼ウマカヒ

臣オミ○東漢掬ヤマトノヤツカケ直直○

星川王ホシカハノミコ○民部カキベ○吉キ

備尾代ビオミヨシロ紀吉紀吉○史部フヒト○

一事主神ヒトコトヌシノカミ○来目水ククノガハ

○池津媛イケツヒメ○石河楯イシカハノタテ

○来目部クメベ○大津馬オホツツウマ

飼カヒ○菟田ウタ○鳥養部トリカヒベ

○猪名部イナベ真根マネ○丹タニ

以高ヒノタカ就ツク鳥原陵ウツラノミササキ

清寧天皇

○磐石余イハシノミカゲリ瓊粟シラガ○白髮シラガ

武廣國タケヒロクニ押稚オシワカ日本根ヤマト

子コノスメラミコト天皇ハヤヒト○隼人シラ○白

髮部ガベトネリ舍人カシハデ○膳夫カシハデ○

靱負ユゲヒ○伊與來目部イヨクメ

小楯ヲタテ○億計王オケミコ○弘ヲ

計王ケミコ○赤石縮見屯アカシノシヅミノミヤ

倉首ケノオヒト○忍海部細目オシマミヘノミヤコホソメ

紀忍海部造注○飯豊王○角刺宮○山部小楯○針間國○志自牟○按飯

豐王紀作皇女又女王古事記○坂サカ

門原陵トハラノミヤキ  
注○  
稚田

顯宗天皇

○來目稚子クメノワクゴ  
注○表初之石葉別命

○萋媛ハエヒメ○帳内トネリ○日ヒ

下部使主カベノオミ○吾田彦アダヒコ

○丹波余社郡タニハノヨサノコホリ○田タ

疾來トク  
注○田  
疾來トク○縮見山シヅミヤマ

石室イハヤ○赤石郡アカシノコホリ○丹タニ

波小子ハノワラハ○伊儼武斯イナムシ

廬ロカ寄カ簸ハ泝ソ比ヒ野ヤ儼ナ擬ギ

寐ミ逗ツ愈ユ凱ケ麼バ儼ナ弭ビ企キ

於オ己キ陀タ智チ曾ソ能ノ泥ネ播ハ

宇ウ世セ儒ズ○倭ヤマト者ハ彼ソ彼ソ

茅原チハラ淺茅原アサチハラ第日オトヒヤツコ僕

是也ラマ○石上イソカミ振之神アルノカミ

杉伐スキモトウキ本截スエオシラヒ末於市邊イチキベノ

宮治ミヤニ天下アタノ天萬國シメシメメヨロツクニ萬

押磐尊オシハシ御裔ミトノミ僕是也スエヤツコラマ

○飯豐青皇女イヒトヨノアラノヒメ○忍オシヌ

海飯ミノイヒトヨノアラノミコト豐青尊アラノミコト○近飛チカツアス

鳥八カノヤツリノミヤ釣宮リノミヤ○弘計ヲケノスメラ天

皇ミコト○難波ナニハ小野王ヲノヒメミコ當當

小野女王小野女王而紀而紀無文字恐脫乎○來田クダノ綿蚊ワタカ

屋野ヤヌ○山部連ヤマベノムラシ○狹サ

狹城山サキノヤマノキミカラシロ君韓注○山倭代新羽

井井ノ猪○阿閑事アハシ代阿閑

臣臣○福草部サキクサベ○傍岳カタラカノ

磐坏イハツキノヲカンミサキ丘陵イハツキノヲカンミサキ

仁賢天皇

○大脚オホホシ○島郎シマノヲ注注大為

子子○天○紀大磐石紀生磐石宿宿

於保生訓於保生訓於布以真相近而誤雄略紀近而誤雄略紀作大磐是帶山シヨムレノ

城城紀訓紀訓益○石上廣高イソカミノヒロタカノ

宮宮○億計億計天皇天皇○春カス

日大娘ガノネ ○石上部舍イソカミベトネ

人リ ○的蚊島イソクミカシマ 紀的紀的 ○穗穂

瓮君ベシキミ ○佐伯部サヘキベ ○佐サ

伯部仲子ヘキバンナカコ ○佐伯造サヘキノミヤヅ

○難波日鷹ノニキシロタカ 紀日鷹紀日鷹 吉士吉士 ○

湏流积スルキ ○奴流积ヌルキ ○

小泊瀬ハツセ 稚鷯ササキ 鷯尊ササキミコト ○

埴生坂本陵ハニフノサカモトノミヤキ

武烈天皇

○平羣真鳥ヘダリノマトリノホトタシ 紀真鳥紀真鳥 大臣大臣 ○

籛籛 ○大伴金村オホトモノカネムラ 紀金村紀金村 ○

泊瀬列城ハツセリナミキ ○小泊瀬ハツセ

稚鷯ササキ 鷯ササキ 天皇天皇 ○春日カスガノ

娘子イラツメ ○城像キノカタ ○水派ミヅマタ

邑ムラ ○嶋シマ 紀嶋紀嶋 ○小泊瀬ハツセ

舍人トネリ ○斯我君シガキミ ○傍カタ

丘磐坏丘陵ユカノイハツキノラカノミヤキ

繼體天皇

○男大迹王ヲオホドノミコ ○彦主ヒコヌシ

人王ヒトノミコ 注注 ○若野ワカノ 若野若野 二位皇子ニイノミコ 子子 大郎大郎 子子 ○意富富等王イホホト等王 ○三國君三國君 ○

三國真人○梳子玉○  
車總別命○私斐王○ ○三尾

○三國坂中井○振

媛○高向○倭彦王

○丹波桑田郡○物

部麿鹿火紀麿鹿  
火大連○臣

勢男人紀男人大臣  
注。淡海國○河

内馬飼荒籠○樟葉

宮○男大迹天皇注。  
彦太

尊 ○手白香皇女○

目子媛○稚子媛○

廣媛○麻績娘子○

關媛○倭媛○萬媛

廣媛注。久羅麻  
致岐彌○山背筒

城○哆唎國守穗積

押山紀穗  
積臣○上哆唎○

下哆唎於右之安  
留之難語○娑沓

○牟婁○姐彌文貴

○洲利即爾○五經

博士段揚爾○伴跋

○己汶○帶沙訓未  
詳勾

大兄皇子○麻呂古

○匝布○汶慕羅○



漢高安茂アサカウモ○灼莫加

未詳○斯那奴阿以多

未詳○弟國オトクニ○玉穗宮タマホノミヤ

○近江毛野アヲミラクヌ○筑紫ツクシ

國造磐井クニツクリイハ○筑紫君ツクシノキミ

葛子カヅラコ○糟屋カスヤ○加羅カラ

多沙津タサツ○物部伊勢モノベノイセ

紀伊キイ○父根吉士老ウヂネキシオキナ吉士キシ

勢連セツレン○已能末多干コノマタカン

岐キ○水間城ミヅマキ○膽瓊イシ

殖エ○藍野陵アヲノミヤキ

安閑天皇

○勾大兄廣國押武マカリノオホエヒロクニオシタケ

金日天皇カナヒノスメラミコト○勾金橋マカリノカナハシ

宮ミヤ○春日山田皇女カスガノヤマダノヒメミコ

○沙手媛サテヒメ○香香有カガリ

媛ヒメ○宅媛ヤカヒメ○伊甚屯イビシノミヤ

倉クラ○小壑田屯倉ハリダノミヤケ

田部タベ○櫻井屯倉サクラヰノミヤケ

難波屯倉ナニハノミヤケ○鑿丁クハヨボロ

三島ミシマ○笠原使主カサハラノアタヘオミ紀笠キサ原直

○小杵ヲキネ ○上毛野カミツゲノ 小

熊クマ 野ノ 紀キ 上ウヘ 毛モ ○横ヨコ 渟ツネ ○橘ダイダイ

花ハナ ○多タ 氷ヒ ○倉クラ 櫟ス ○

勾カギ 舍ノ 人ト 部ネリベ ○勾カギ 勒リ 負ヒ

部ベ ○穗ホ 波ナミ ○鎌カマ ○豐トヨ

國クニ 勝サキ 碕サキ 紀勝作勝通證 ○桑クハ

原ハラ ○肝カト 等ト ○大オホ 拔ヒキ 志辭

○我ア 鹿カ ○火ヒ 國クニ 春ハル 日ヒ

部ベ ○播ハ 磨マ 越コシ 部ベ ○牛ウシ

鹿カ ○吉キ 備ビ 後ノチ 國クニ 後ノチ 城シロ

○多タ 禰ネ ○未ミ 履ツ ○葉ハ

稚ワカ ○河カ 音ネ ○姍ア 姍ア 國クニ

膽イ 殖エ ○膽イ 年トシ 部ベ ○阿ア

波ハ 春ハル 日ヒ 部ベ ○紀キ 國クニ 經フ

湍ヒ ○河カ 邊ヘ ○丹ニ 波ハ 蘇ソ

斯シ 岐キ ○近チカ 江カ 葦アシ 浦ウラ ○

尾ヲ 張ハリ 間マ 敷シキ ○入イ 鹿レカ ○

上カミ 毛モウ 野ノ 綠キナンド 野ノ ○駿ス 河カ

稚ワカ 贄ニ ○犬イヌ 養カヒ 部ベ ○櫻サクラ

井イノ 田タ 部ベ 連ムラシ ○縣アガタ 犬イヌ 養カヒ

連ムラシ ○難ナニ 波ハ 吉キ 士シ ○媛ヒメ

嶋シマ 松マツ 原ハラ ○舊フルイ 市イチ 高タカ 屋ヤ

丘陵ヨカニキ

宣化天皇

○檜隈高田皇子注

高タカ ○武小廣國押盾タケノコ

天皇 ○檜隈廬入野スミラミコト

○蘇我稻目紀稻目 宿祢

阿部火磨紀火麻呂臣火 一本作大者是

橘仲皇女 ○筑紫那

津 ○磐 ○狹手彦 ○

身狹桃花鳥坂上陵ムササノツキ

欽明天皇

○天國排開廣庭天アノクニ オシハルキニロニハノスメラ

皇 ○物部尾輿紀尾輿 大連

○石姬 ○己知部 ○

磯城島金刺宮 ○秦シキ

伴造 ○祝津宮 ○許トモミヤコ

勢稻持紀許 勢臣 ○稚綾姬ワカヤヒメ

皇女 ○日影皇女 ○ヒメミコ ヒカゲノヒメミコ

堅鹽媛 ○小姊君 ○キタシヒメ フナネキミ

糠子注○小 ○扶南音読 外國

樂名

○津守連 ○肅慎

○御名部崎 ○膳巴

提便紀膳 ○下部東城

子言下部東城未詳子言音読 ○德卒

汶休麻那德卒韓之爵訓未詳汶休麻那音読

○馬津城 ○德爾辛

○移那斯 ○麻都注。阿賢

移那斯佐魯麻都。阿比多。 ○漢城 ○平

壤 ○箭田珠勝大兄

皇子 ○明音讀 ○中臣

鎌子紀中 ○向原 ○難

波堀江 ○茅渟海 ○

溝邊直 ○樟勾宮 ○

王辰爾 ○船史 ○餘

昌 ○渟中倉太玉敷

尊 ○德率東城子莫

子 ○奈率韓之 ○王柳

貴 ○固德馬丁安固德韓之

○僧曇惠 ○僧道

深 ○施德王道良施德亦爵

○奈卒王有悛陀 ○

施德潘量豐 ○固德

丁有陀 ○ 施德三介

○ 季德已麻次 季德亦爵

李德進奴 ○ 對德進

陀 對德亦爵韓人名音讀 ○ 內臣 ○

函山城 ○ 惠 ○ 穗積

磐弓 紀磐弓臣 ○ 白猪屯倉

○ 阿倍臣 ○ 佐伯連

○ 播磨直 ○ 筑紫火

君 ○ 彌氏津 ○ 兒島

郡 ○ 葛城山田瑞子

○ 田令 ○ 韓人 ○ 大

身狹屯倉 ○ 高叢人

○ 小身狹屯倉 ○ 海

部屯倉 ○ 更荒郡 ○

紀男麻呂 紀男麻呂宿祢 ○ 河

邊瓊击 紀河邊臣 ○ 調伊企

儼 紀調七 ○ 智聰 ○ 泊瀬

柴籬宮 ○ 東漢糠兒

紀東漢氏直 ○ 葛城難波 紀葛城直

○ 膳傾子 紀膳臣 ○ 東漢

坂上子麻呂 紀坂上直 ○ 錦

部大石 紀錦部首 ○ 相樂館

○坂田耳子郎君サカノミミコノイラツキミ

古市フルイチ○檜隈坂合陵ヒノクマノサカアヘノミヤキ

○秦大津父ハタオホツチ○紀伊キ

郡深草里フクシノカサノサト○賀茂神カモノカミ

敏達天皇

○淳中倉太玉敷天ヌナクラフタタマシキノスメラ

皇ミコト○百濟大井宮ヤマトオホノミヤ○

物部弓削守屋モノベノユヅメノモリノオホムラシ紀守屋天キノモリノオホムラシ連ツラシ注大

狩カ御ミ○蘇我馬子ソノカノウマコ紀馬子キノウマコ宿祢ヤクニ

○老女君オムメノキミ○吉士金キシノカナ

子コ○吉士木蓮子キシノキタマシ

吉士キシ譯語彦ワカコトノヒコ○多多タタ

羅ラ○須奈羅スナラ○和陀ワタ

○發鬼ホツキ○海部王ウミノミコ

絲井王イトノミ○譯語田ワカコトノタ

幸玉宮サキタマノミヤ○豐御食炊トヨミケノカキ

屋姫尊ヤメノミコト○日祀部ヒノマツリノベ

私部シカイノベ○大别王オホワケノミコ○小コ

黑吉士クロノキシ○菟道皇女ウサチノヒメノミコ

○綾糟アヤカス○紀國造押キノクニノミヤツクシ

勝カツ○吉備海部羽島キヒノウミノハシマ

紀海部直 ○葦北國造子日

羅 ○鹿深臣 ○佐伯

連 ○中臣勝海紀勝海連 ○

坂田耳子王 ○橘豐

日皇子 ○廣瀨 ○磯

長陵

用明天皇

○大兄皇子 ○橘豐

日天皇 ○池邊雙槻

宮 ○酢香手姬皇女

○穴穗部間人皇女

○石寸名 ○三輪逆

○迹見赤檮紀三輪君 見首

○磐余池上陵 ○磯

長陵

崇峻天皇

○穴穗部皇子 ○佐

伯丹經手紀佐伯連注舟經繩手按舟舟之誤

○土師磐村紀土師連 ○的

真嚙紀的臣 ○宅部皇子

泊瀬部ハツセベノスミヤコト天皇ミコト○倉クラ

梯官ハシノミヤ○小手子サテコ○近チカツ

江滿エミツ○紀近江臣太子○傳曆滿作蒲○シノヒト安人ヤシヒト

雁カ人紀安人臣○コ巨勢セノ比良夫ヒラフ

勢臣セノミ○サノミ狹臣サノミ○太子傳曆作○巨勢巨猿

大伴オホトモ嚙カミ連ツグ○カツラキ葛城烏カツラキ

奈良ナラ○紀鳥奈良臣○キレ吉士キシ磐イハ

金カネ○クラハシノラカノミヤキ倉梯岡陵クラハシノラカノミヤキ

推古天皇

額田部ヌカタベ皇女ヒメミコ○トヨ豐トヨ

浦宮ウラノミヤ○トヨ豐御食炊屋トヨミケカシキヤ

姫ヒメ天皇スメラミコト○ウマヤトノ厩戸皇子ウマヤトノミコ

○ナニハノアラハカ難波荒陵ナニハノアラハカ○ソノガノ惠慈ソノガノ

○僧名惠聰ソノガノ○音読蘇我善ソノガノ

德紀善徳臣音読○チ法興寺ホウキョウジ○

觀勒カンレク○オカヒベノ僧隆ソウリウ○イミ雲聰ウンソウ

以上音読○アサ阿佐アサ○オカヒベノ境部サカイベノ臣イミ

○ホツシノ穗積臣ホツシノ○サカモトノ坂本サカモトノ糠ヌカ

手紀坂本臣○ミ、ナシノ耳梨行宮ミ、ナシノカリミヤ○

来目クメ皇子ミコ○タギマノ當麻皇タギマノミ

子コ○ヲハリタノ小墾田宮ヲハリタノミヤ○クラ鞍クラ



作鳥ツクリトリ ○元興寺ゲンキョウジ ○壬ニ

生部フベ ○小野妹子オノイモコ 紀小野臣

○鞍作福利クワツクリフクリ ○高市タケチノ

池イケ ○藤原池フチハラ ○肩岡カタノカノ

池イケ ○菅原池スガハラ ○栗隈クリクマ

溝ウチテ ○戸苺池トカリノ ○依網ヨサミノ

池イケ 注○三五〇 ○斐世清ミカタ

讀音 ○難波雄成ナニハオウナリ 紀難波吉士

○中臣宮地烏麻呂ナカトミノミヤチムラシマロ

紀宮地連 ○大河内糠手オホカハナノナカテ 紀大河内

直 ○船王平フネノミト 紀船史 名音読 ○

額田部ヌカタベノ 比羅夫ヒラフ 紀額田部連

○海石榴市ウミキリ 注○物部鎌足モノベノ 大自

○難波德摩呂ナニハトクマロ 紀難波吉士

○船龍フネリウ 紀船史 ○菟田野ウタノ

○掖上ウキカミ ○畝傍ウネビ ○和ワ

珥ニ ○犬上御田鋤イヌノカミノミタスキ ○

矢田部ヤタベ 造タカ 注○矢田部ヤタベ 柳ヤナギ 嬬シ 物部志佐

古 ○掖玖人ウキクヒト ○神戶カムベノ

郡コホリ ○蒲生河カマフカハ ○檜隈ヒノクマ

陵ミサキ ○葛野秦寺カノノハシマシラ ○四

天王寺テンノウジ 音読以下無訓者同 ○慧齊ケイサイ

○慧光カスシ○醫慧日カスシ

福因キジ○吉士倉下キジ○

中臣國紀中○河邊禰カハ

受紀河○物部依網モノベ乙オ

等紀依○波多廣庭ハタノオミ紀波紀波

○近江脚身飯蓋近江紀脚紀脚

○平羣宇志紀平○大オホ

伴連トモ○大宅軍紀大宅臣宅臣○

鞍作部德積アサヅリ○阿曇アツミ

連ムラシ○慧觀ソカ○蘇我蝦ソガノエミ

夷シ○田村皇子タムラノミ○山ヤマ

背大兄皇子シロノオホ○竹田タケダ

皇子ミコ○竹田陵タケダノミヤキ

舒明天皇

○押坂彦人大兄皇オシサカ

子コ○糠手姫皇子ヌカテノヒメミコ

境部摩理勢サカヒ紀摩理紀摩理

息長足日廣額天皇オキナガ

注○廣額廣額天皇天皇○高市高市天皇天皇

○田部連タベノムラシ○

寶皇女タカラノヒメ○蘇我法提ソガノホミチ

郎女イラツメ○藥師慧日クスシ○

飛鳥岡岡本宮アスカノヲカヲカモトノミヤ○義

慈アヒマノイヌ○豐璋トヨシマ○有間温アヒマノイヌ

泉ユ○高表仁オホホトモヒ○大伴オホトモヒ

馬養ウマカヒ○吉士雄麻キシヲマ

呂ロ○黑麻呂クロマロ○田中タナカ

宮ミヤ○上毛野形名カミツケノキミカタナ○毛野モノ

君ミヤ○百濟川上クハラカハノホトリ○慧

隱イ○慧雲ヱノクモ○伊豫温イヨノイヌ

泉イ○廐坂宮マヤサカノミヤ○高向タカムクサ

玄理クロマロ○清安キヨヒサ

滑谷岡ナハガマノヲカ○押坂陵オシサカノミサキ

皇極天皇

○茅渟王チヌノミコ○吉備姫キビヒメ

王ミコ○高向王タカムクサノミコ○漢皇アヤノミ

子コ○天豐財重日足アメトヨタカライカシヒタラシ

姫ヒメ天皇スメラミコト○入鹿イルカ○紀蘇我臣

津守大海ツモリノムラシオホアマ○國勝クニカツ

水鷄クヒナ○草壁真クサカハノキシマ

跡ト○坂本長兄サカモトノキシナカエ

○翹岐タカサキ○安曇アツミノ

山背連ヤマシロノムラシ○南ミナ

淵河フチカハ○達率長福○

百濟大寺ヒャクサイダイジ○小墾田コケンテン

宮ミヤ○飛鳥板蓋新宮アスカノイタフキノニロミヤ

○茨田池ヒツタノイケ○吉備島キヒシマ

命ミコト○土師猪手ヒツシイノイダ 紀土師安婆連猪手

○檀弓岡マユミノヲカ○古人大フルヒトオホ

兄皇子エノミミコ○巨勢德太コセノトコタ

古コ 紀德太古臣 ○中臣鎌足ナカトミノカマダシ

紀或作鎌千連或作鎌足連 ○大伴長德オホトモノナガトコノナシ

孝德紀曰大伴長德連字馬飼即上与馬養同人 ○中大ナカオホ

兄皇子エノミミコ○蘇我倉山ソノガクラヤマ

田石川麻呂タノイシカハハロ 紀作倉山田麻呂臣而下

石川麻呂イシカハハロ ○輕皇子カルノミコ

孝德天皇

○天萬豐日天皇アマヨロツトヨヒノスミラミミト ○

阿部倉梯麻呂アベクラハシマロノオホネ 紀作阿部内麻呂臣

而下文云倉梯麻呂大臣 ○間人皇女ハシヒトノヒメミコ

○小足媛コタラシヒメ ○乳娘チライラツメ ○

三輪栗隈東人ミワノクリノキミヤマヒト 紀栗隈君 ○

馬飼造ウマカヒノミヤツク ○倭漢比羅ヤマトノフヤアタヒヒラ

夫ツブ 紀作倭漢直倭字或作東訓同 ○忌部イミノオホト

子麻呂紀部首 ○吉備笠

垂紀臣 ○菟田朴室古

○高麗宮知 ○難波

長柄豐碕宮 ○村主

○子代離宮注狹屋部

鹽屋鮒魚 ○神社福

草 ○朝倉君 ○梳子

連 ○三河大伴直 ○

蘆尾直 ○子代入部

○御名入部 ○蝦蟇

離宮 ○武庫行宮 ○

小郡宮 ○倭漢荒田

井以羅夫紀倭漢直 ○渟足

柵 ○柵戸 ○中臣押

熊紀臣 ○大阿食金春

秋大阿食新羅 ○磐舟柵 ○

日向紀蘇我 ○三輪色

夫紀三輪 ○沙喙部沙食

金多遂沙喙部未詳沙食爵通證云喙依天智紀直

○掃部角麻呂紀掃部連

○味經宮 ○穴門國

司草壁醜經紀草壁連 ○吉

士長丹シナガニ○吉士駒キシコマ○

高田根麻呂タカタネマロ○紀高田首○掃カニ

守小麻呂モリノマロ○紀掃守首○薩麻サツマ

竹嶋タケシマ○紀云薩麻之曲竹嶋之門○門部カドヘ

金カネ○河邊麻呂カハヘノオミマロ○紀河邊臣○

土師土德ハシノムラシ○紀百舌鳥土師連土德音詠乎○

大坂磯長陵オホサカノシナカノミヤキ

齊明天皇

○膽駒山イコヤマ○住吉松スミノキマツ

嶽タケ○及喰彌武ウケノミタケ○柵キ

養カヒ○津川ツガハ○膳葉積カシマノオミハツキ

臣シ○坂合部磐鋏サカヘビノイハスキ○紀坂合部

連ツグ○注ツグ○後飛鳥岡本ノチトビノオカモト

宮ミヤ○田身嶺上兩槻タハシノタケノフタツキ

樹下モト○兩槻宮フタツキノミヤ○天アメ

宮ミヤ○佐伯栲繩サヘキノムラシタタ○紀佐伯連

難波國勝ナニガハシノクニカト○紀難波吉士○間マヒ

人御殿ヒトノミヤ○紀間人連○依網稚ヨサシメシノワタ

子コ○紀依網連○阿曇頰垂アツミノムシノタリ○紀阿曇連

○津偃倭ツノオミクツマ○紀津臣○齧田アキタノ

蝦夷恩荷エゾノオムカ○淳代ヌシロ○

津輕ツガル ○ 沙尼具那サナクナ 紀或作沙

套真那按 ○ 蘇我赤兄ソガノアカエノオミ 紀赤兄臣

平浦ヒラウラ ○ 後方羊蹄シリベ

坂合部サカアヘ 石布イハシキ 前与磐

津守ツモリノ 吉祥ムシギ 紀津守連 吉祥音読

○ 佐平鬼室福信 ○

餘豐シナヌ ○ 科野オホクノ ○ 大伯

海ウミ ○ 伊豫熟田津石イハセノカカリミヤ

湯行宮ユノカカリミヤ ○ 娜大津ナオホツ ○

磐瀨行宮イハセノカカリミヤ ○ 長津ナガツ ○

紇解アサクラヤシロ ○ 朝倉社アサクラヤシロ ○ 橘タチバナ

廣庭宮ヒロニハシミヤ ○ 耽羅タムラ ○ 阿ア

波伎ハキ ○ 小市岡上陵コイチノカミノミヤサキ

天智天皇

○ 佐伯子麻呂サキノムラシコノマロ 紀佐伯連 ○

葛城雅犬養網田カツラキノワカイヌカヒノハラシメタ 紀推犬養連

○ 漢直アヤノアタタヘ ○ 阿曇比羅アツミノヒラ

夫フ 紀比羅 ○ 河邊百枝カハヘノモトノオミ

枝エダ 紀百枝臣 ○ 阿倍引田比羅アベノヒキタノヒラ

夫フ 紀比羅 ○ 物部熊モノベノクマ 紀物

連ツグ 部ベ ○ 守大石モリキミオホシ 紀守 ○ 狹サ

井檳榔紀狹 ○ 朴市紀狹 泰

田來津紀秦造无 ○ 岸紀

田麻呂紀岸 ○ 續守言田臣

○ 上毛野稚子紀上毛野君

○ 間人大蓋紀間 ○ 臣紀

勢神前譯語紀神前臣 ○ 三

輪根麻呂紀三 ○ 大宅紀

鎌柄紀大 ○ 白村江 ○

佐平余自信 ○ 達率

木素貴子 ○ 谷那晉

首 ○ 憶禮福留 ○ 大紀

海部皇子 ○ 氏上 ○

民部 ○ 家部 ○ 善光

○ 劉仁願注 ○ 郭仁軌

務悰 ○ 蘇我連注 ○ 連子臣按

○ 水城 ○ 佐平鬼

室集斯 ○ 荅本春初

○ 四比福夫 ○ 劉紀无

德高以上音讀 ○ 境部石積サカヒノムラシイハツミ

○ 峽彌針間紀峽

○ 姑如紀 ○ 司紀

馬法聰 ○ 大野 ○ 椽紀



紀作  
伊吉博德イキムラシハカトコ 紀伊

及縁  
笠諸石カサノオミモロシ 紀笠 倭高安ヤマトノミカヤス

讚吉屋島サキギノヤシマ 金田カネタ

天命開別天皇アメノミコトヒラカスワケノスミラフミコト

倭姫ヤマトヒメ 遠智娘トモチノイラツメ 姪メヒ

娘イラツメ 橘娘たちばなノイラツメ 常陸娘ヒメチノイラツメ

蒲生野カマフノ 布勢耳フセノオミミ

麻呂マロ 紀道紀道 久麻貴クマキ

山科野ヤマシナノ 吉士小鮪キシコシヒ

斑鳩寺イカルガテラ 河内鯨カハチノアヘノシラ

内直紀河 賈邇野ヒセ 山御ヤマノミ

井井 蘇我赤兄ソガノアカニオキ 紀赤兄

巨勢人コセノヒト 紀人 中臣金ナカトミノカネ

連紀金 李守真リノミコトマコト 沙宅サノヤ

紹明ソウメイ 蘇我果安ソガノハタヤスノオミ 紀果安

紀大人紀大人 黄書キフミノシヤ

本實紀黃書造 比智島ヒチシマ

山科陵ヤマシナノミサキ

天皇大友

伊賀皇子イガノミコ 伊賀イガノ

采女宅子娘ウネメヤカコノイラツメ 荅怱タム

春初体上文 ○吉大尚

○許率母 ○阿曇稻

敷紀阿 ○村國男依紀村

○和珥部君手紀和珥

○身毛廣紀身 ○不破

道 ○大分惠尺紀大

高坂王 ○三宅石床

宅連 ○韋那磐鋏紀韋

書藥紀書 ○忍坂大麻

呂紀忍 ○穗積百足紀穗

弟百枝注五 ○物部

日向紀物 ○佐伯男紀佐

○樟磐手紀樟 ○栗隈

王 ○當摩廣島紀當

大伴吹負紀大 ○稚狹

王 ○坂本財紀坂 ○壹

岐韓國紀壹 ○大津

丹比 ○衛我河 ○来

目鹽籠紀来 ○山部王

○犬上川 ○羽田矢

國紀羽 ○大野果安紀大

○乃樂山 ○八口 ○

田邊タベノ小隅フス○田中タナカ足オミタリ

麻呂マロ○倉歷クラフ○薊タ

荻野ヒノ○息長オキナカ横河ヨコガハ○

秦女ハタトモタリ足ト○鳥籠山コノヤマ○

葦池アシイケ上ホトリ○犬養イヌカヒ五十ムラシ

君キミ○村屋ムラヤ○廬井イホ井

鯨クジラ井造紀廬○三輪ミワ高市タケチ麻マ

呂ロ○置始オキシメ菟ウ○

著陵ハシノミ○社戸コソノ大口オホクチ○

○土師ハシノミ千島チシマ○安ヤス

河上カハノホトリ○栗太クリモト○瀬田セタ

○智尊チクン○大分オホキタ稚臣チキミ

○三尾城ミヲノキ○谷鹽ヤノシホ

手直テナカ○粟津市アハツノイチ○物モノ

部麻呂ベマシマロ○山前ヤマサキ

天武天皇

○蘇我安麻呂ソノガノオミヤスマロ○

次田スキタ生磐イクハ○朴井雄エノ井ノシヲ

君キミ○島宮シマノミヤ○安八ヤハ

磨郡マノコホリ○湯沐令タウナガレ○多オホシ

品治ホムヂ○黄書キミノミツコホトモ大伴オホトモ

紀黃 逢志摩紀逢 書連 ○ 鷗

野皇女 ○ 草壁皇子

○ 忍壁皇子 ○ 縣犬

養大伴紀縣犬 ○ 佐伯養連

大目紀佐 ○ 大伴友國伯連

紀稚櫻部臣五十瀨旁訓 伊保世持統紀五百瀨 ○ 書根

麻呂紀書 ○ 書智德紀書

○ 山背小林紀山 ○ 山背直

背部小田 ○ 安斗智

德紀安 ○ 調淡海紀調

津振川 ○ 菟田吾城

○ 大伴馬來田紀大

土師馬手紀土 ○ 甘羅

村 ○ 大伴朴本大國

○ 美濃王 ○ 大野

○ 隱郡 ○ 横河 ○ 伊

賀郡 ○ 中山 ○ 荊荻

野 ○ 積殖山口 ○ 高

市皇子 ○ 民大火紀民

○ 赤深德足紀赤 ○ 大赤深

藏廣隅紀大 ○ 坂上國

麻呂紀坂 ○ 古市黑麻

呂○竹田大徳○膽

香瓦安倍紀膳香瓦臣○鹿

深○大山○鈴鹿注。田原

股三輪○三輪子首紀三輪君○

高田新家紀高田首○川曲

坂本○三重郡朝明

郡○迹太川上○大

津皇子○難波三綱

紀難波吉上 ○駒田忍人紀駒田勝勝

訓方佐姓氏録奉勝訓入多乃方佐依之 ○山邊安

麻呂○小墾田猪手

○渥部眠枳注云賦本書作賦今抄下部兼

永本及親日本紀訂之紀訓志伎 ○根金身ネムシカホ

紀根連 ○漆部友背紀友作友

○和暫 ○安斗阿加

布紀阿斗連 ○桑名郡 ○小

子部鉏鉤紀小子部連 ○野

上 ○坂上熊毛紀坂上直 ○

飛鳥寺 ○三輪高市

麻呂紀三輪君 ○賀茂蝦夷

紀鴨君 ○龍田 ○大坂 ○

石手 ○平石野 ○紀

阿閉麻呂紀臣 ○紀太

音紀臣 ○懼坂 ○玉倉

部邑 ○出雲紀出 拍紀出 ○

境部藥紀境 ○金網井部連

○葦池 ○粟津岡 ○

筱浪 ○飛鳥淨見原

宮 ○天淳中原瀛真

人天皇 ○龜石郡 ○

川原寺 ○久麻藝 ○

都羅宇麻 ○紀堅麻

呂紀紀臣 ○忍海大國

紀忍 ○大伴御行紀大 ○

海造 ○佐伯廣足紀佐 ○間人

大蓋紀間 ○曾禰韓犬

滿沙伎理梁通證云濶隙 ○比

為祭野取魚也 ○麻績王 ○大

伴國麻呂紀大 ○三宅

入石紀三宅 ○久麻伎

與久麻 ○飽波郡和名抄平

○屋恒王 ○物部麻

呂紀物 ○山背百足紀山

○村田名倉紀村田史 ○血+

鹿島 ○河邊百枝紀河邊

○丹比麻呂紀丹比君 ○倉

梯川上 ○十市皇女

○忍海能麻呂紀忍海造 ○

臘子鳥 ○越智 ○迹

驚淵上 ○迹見驛 ○

○倭馬紀優造優字 ○

飼部連紀馬飼部造 ○上光

欠紀上寸主按寸者村之省文姓氏錄上村主是也光欠紀訓加 ○

禮暫從馬 ○多彌島 ○藥師

寺 ○羅城 ○橘寺 ○

活田 ○白巫鳥 ○朝

孀 ○向小殿訓赤 ○内

安殿 ○外安殿 ○大

極殿 ○川島皇子 ○

忍壁皇子 ○廣瀨王

○竹田王 ○桑田王

○三野王 ○上毛野

三千野君 ○忌部首

阿曇稻敷紀阿曇連 ○難波

大形オホカタ紀難紀難○中臣大島ナカトミミナシ

紀中紀中○平群子首ヘクリノオミコヒト紀平群紀平群

首難波吉士首難波吉士今為忌部連今為忌部連難波連難波連

之類之類與前不同者與前不同者以下往々有焉以下往々有焉

以天武紀云改諸氏之族姓以天武紀云改諸氏之族姓作八

色之姓色之姓以混天下万姓以混天下万姓一曰真人

二曰朝臣二曰朝臣三曰宿祢三曰宿祢四曰忌寸四曰忌寸五

曰道師曰道師六曰臣六曰臣七曰連七曰連八曰掃置八曰掃置

○采女筑羅ウネメノオミ紀采女紀采女○當タギ

摩楯マシキミタテ紀當紀當○佐伯廣足サヘキノミナシ

紀佐伯連紀佐伯連○小墾田麻呂コハリタマシ紀小墾田紀小墾田

臣臣○廣瀨野行宮ヒロセノヤカミヤ

白茅鴟シロキイヒト鴟鴟紀作紀作○境部サカヒ

石積イハレキ紀境部紀境部○丹比島タチヒノシマ紀丹比真紀丹比真

人人○伊高岐那イコキナ○日ヒ

高皇女タカノミコ○鏡姬王カミミコ○

伊勢王イセノオホキミ○大伴安麻呂オホトモムラヤス

呂ロ紀大伴連紀大伴連○高向麻呂タカムクノオシマロ紀高向紀高向

○都努牛飼ツヌノウシカヒ紀都努紀都努○三ミ

輪引田難波麻呂ワノロキタナハマ紀引田紀引田

○桑原人足クサハラノヒトタリ紀桑原紀桑原○縣ノ

犬養手イヌカテムテ紀犬養連紀犬養連○川原カハラノ

加尼カニ紀川原連紀川原連○土師甥ヒニノスネノヲヒ紀土師紀土師

祢祢○白猪寶然シラ井ノマシトホウネム紀白猪紀白猪○三ミ

猪使子首イソカヒラシコヒト紀作猪使連紀作猪使連○三ミ



宅得許ヤケムシトコ 紀三 ○宮處王ミヤコロオホキミ

○難波王ナニハオホキミ ○竹田王タケタノオホキミ

○彌努王ミヌオホキミ 上文美濃王三野王共同人

石川イシカハノアヲミムシナ 蟲名朝臣 ○東トウ

山ヤマ ○佐味少麻呂サマシマノ 朝臣

○巨勢栗持コセノアキマモテ 朝臣

○路迹見ミチノマヒトミ 紀路真人 ○南海ミナミノウミ

○佐伯廣足サヘキスツネヒロタリ 紀佐伯宿祢

○山羊皮ヤマレンノカハ ○束ツカ

○輕部カレベノアソミタリセ 間温泉マノイノエ

○高田新家タカタノオホトニホノミ 朝臣

○荒田尾麻呂アラタノムラシマロ 紀荒田尾連

○伯瀨王ハセノオホキミ ○巨勢馬コセノウマ

○大角オホツノ ○小コ

○弩枕イハヒツキ 枕紀及軍防令作拋推古紀作

○白錦後苑シロニシキノノチ

○周芳總領所スハウノスブルヲサノモト

○國懸クニカス

○秦石勝タライキイノカク 紀秦忌寸

○大オホ

○内陵ウチノミヤ

○御窟殿ミムロノノ 下文作御窟院訓同

○オホ

持統天皇

○鷺野讚良皇女

○遠智娘 ○礪杵道作

○行心 ○田中法麻

呂 ○紀田中 ○青飯 ○霜

林 ○伊勢王 ○守苧

田 ○紀守 ○藤原大島

原朝臣 ○栗田真人

○土師根麻呂

○大宅麻呂

藤原史 ○當麻

櫻井 ○紀當麻 ○穂積山

守 ○紀穂積 ○中臣麻呂

益須 ○紀巨勢 ○大三輪

安麻呂 ○紀大三輪 ○施基

皇子 ○佐味宿那麻

呂 ○紀佐味 ○羽田齊

田朝臣 ○伊余部馬飼

○薩弘恪 ○調老人

紀調 ○大伴手拍

○柏原廣山 ○生部

虎紀生 ○武庫海 ○阿

提郡那耆野 ○身野

○高脚海 ○石川蟲

名紀石川 ○高田石成

田紀高 ○高天原廣野姬

天皇 ○物部麻呂紀麻呂朝

○中臣大島紀大島朝臣

○忌部色夫智紀忌部宿祢

○解部 ○腋上陂 ○

多治比島前作丹比者同人 ○大

伴部博麻類聚國史作博麻呂 ○

筑紫史益按史例去加婆稱而史加婆稱也不

去者益按合者誤 ○鈿 ○須波水

内神 ○長生池新紀蘇於殺生之

所依之且訓伊伎波奈都 ○新益京音讀

○高宮 ○三輪高市

麻呂紀三輪朝臣 ○當麻智

德紀當麻真人 ○紀弓張紀朝臣

○布勢色布智紀布勢朝臣

○鹿島櫟樟紀麻呂臣 ○菟

名足 ○衣縫王 ○上

百濟紀上村主 ○多武峯 ○

益須郡ヤスノ○臺八島ウチノミヤ紀ノ

都賀山ツカノヤマ○羽衝ハツキ

土羅羅女ツララメ○更荒サラノ

郡コホリ○刑部オカノミヤノカラクニ韓國紀刑部造

荒城郡アラキ○弟國部オトクニベ

弟日オトヒ○良琳ラリン○文博フミヤシ

勢セ紀ノ文モト○下諸田シモノモタ紀ノ作ノ下ノ譯ノ

氏錄有上下曰氏錄有上下曰○小野毛野コノノモリ

朝臣チロ○伊吉博德イキムツ紀ノ伊ノ連ノ

○菟田吉隱ウタノヨナバリ○二槻フタツキ

宮ミヤ○風速郡カザハヤノ○物部モノベ

藥クサリ○皮石郡カハシノ○壬生ニニ

諸石モロシ○皇孫珂瑠スメミヤカ○

當麻國見タギマノミ紀ノ當麻ノ真人ノ○路ミチ

迹見ミトミ紀ノ路ノ真人ノ○巨勢粟持コセケム

朝臣チロ○常鏹盜賊ヒタメスヒト○

大倭根子ヤマトネ天之廣野アメノヒロ

日女尊ヒメノミコト○大内山陵オホウチヤノミサキ

Table with 10 columns containing faint, mostly illegible text, possibly representing chapter or section markers. The text is arranged in vertical columns from right to left.

伊能外記著

慶應二丙寅年五月

常州水戸 須原屋安治郎

下總佐原 正文堂利兵衛

江戸 須原屋伊八

同 和泉屋金右門

同 山城屋佐兵衛梓

